

○リーディングプロジェクト基本構想等策定支援業務プロポーザル 質疑回答

	区分	ページ・項・番等	質問カテゴリー	質問内容	質問回答
1	実施要領	5ページ 第7 2(2)ア	提案書の作成	提案者の体制について、各担当者の「保有資格、本業務に類する実績」について、記載した資格、実績等に関する証明書等の添付が必要との理解でよろしいでしょうか。	提案段階においては、証明書等の添付は必要ありません。
2	実施要領	6ページ 第7 3(1)	提案書の作成	企画書は片面印刷でA3用紙4ページ分（会社概要及び実施方針2ページ、業務提案2ページ）という理解でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
3	実施要領	6・7ページ 第7 3・4	提案書の作成	提案提出書（様式4）、企画書（A3用紙4ページをA4サイズに折り込む）、提案価格書（様式5）をひとつのファイル等に綴じてご提出するという理解でよろしいでしょうか。 綴じ方にご指定があればご教示ください。	提案提出書、企画書、提案価格書の順番に並べていただき、企画書はホッチキス止めしてください。製本やファイル等に綴じていただく必要はありません。
4	実施要領	7ページ 第7 4(4)	提案書の作成	正本は様式4及び5に押印したもの、副本の様式4及び5はそのコピーとし、企画書は正・副問わず同じ内容を提出するという理解でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
5	実施要領	7ページ 第7 5(3)	提案書の作成	情報公開にあたり、応募者の競争上の地位または利益を損う恐れがある事項（情報公開条例第6条3項に該当する情報・提案）については応募者に確認の上非公開としていただけるという理解でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
6	実施要領	8ページ 第9 2(1)イ	プレゼンテーション	プレゼンテーションにスライドを使用する場合、提案書の内容を基に、文章を箇条書きに整理したり図表化したりするなどの編集は可能でしょうか。	提案書の文章を変更しない限りにおいて、箇条書きや図表化など体裁を変更することは可能です。
7	実施要領	12ページ 別図2	想定スケジュール	想定スケジュールにおいて基本構想・基本計画期間が設計委託業務と重なっていますが、その意図・根拠をご教示願います。	本業務は基本構想及び基本計画の策定支援を行うものですが、基本計画にかかる内容については、設計業務にも密接に関連するものとなります。そのため、基本計画案の策定にあたっては、本業務の受託者と設計者が連携して実施していくことで、設計業務にスムーズに移行することを期待しています。
8	実施要領	12ページ 別図2	想定スケジュール	基本構想策定が令和5年6月、基本計画の策定が令和5年9月となっていますが、パブリックコメントは、基本計画まで策定後に、基本構想と基本計画をまとめて実施するという理解でよろしいでしょうか。	お考えのとおりです。
9	実施要領	12ページ 別図2	想定スケジュール	本業務の完了前に設計業務実施者の選定及び基本設計業務がスタートするスケジュールとなっていますが、本業務の受注者が、基本設計業務を受注することは可能でしょうか。	実施要領の第4に記載したように、本業務を受託した者は、設計業務等、本業務の次に実施する事業へは参加できません。

	区分	ページ・項・番等	質問カテゴリ	質問内容	質問回答
10	実施要領 仕様書（案）	(実施要領) 12ページ 別図2 (仕様書案) 3ページ 6(1)ア	想定スケジュール	別図2、仕様書ともにR5年3月までに事業手法の整理をすると示されています。 実施要領別図によると、この「整理」をもとに従来手法か民間活力導入かを判断されるように見受けられますが、基本構想段階では具体的な事業規模、事業内容を提示できないため民間事業者の参入意向を具体的に回答いただくことは難しく、最適な事業手法を判断する根拠が不足する可能性が高いと思料します。 基本的には従来手法とする前提で進めるのかなど、お考えをお聞かせください。	現在のところ、事業手法の想定はありません。 その時点で想定される事業内容等をもとに、事業手法の整理を行っていきます。
11	実施要領	別表2	評価基準	各項目の配点は、5名の選定委員の合計の点数を表している（1名あたりの持ち点ではない）と推察されますが、価格提案の10点についても同じ（1名の持ち点2点）という理解でよろしいでしょうか。 それとも、選定委員による評価ではなく計算式等によって算定されるのでしょうか。	提案価格に関する評価は、選定委員による評価ではなく計算式によって算定します。 なお、配点は選定委員1人あたりのものを示しており、受託候補者の特定方法は実施要領8ページに示しています。
12	仕様書（案）	1ページ 4(1)	留意事項	デザイン会議との役割分担の確認のため、差支えなければ貴市と東海国立大学機構の学術コンサルティング契約に係る仕様書をご開示いただけますでしょうか。	仕様書を示します。
13	仕様書（案）	2ページ 5(1)	事業の概要	本プロジェクトの事業候補地については「市が決定する」とございますが、事業候補地の比較検討は業務に含まれますか。また、現時点での候補地の選定期間の目安をご教示頂けないでしょうか。	事業予定地の比較検討は業務に含まれません。 事業地の決定は、令和4年度中を予定していますが、これ以降となる場合もあります。
14	仕様書（案）	3ページ 6(1)ア(オ)	業務内容	「官民連携による事業方式など広い範囲で可能性のある事業手法を整理し、各方式のメリット、デメリットを評価、比較し、本事業に適した事業手法について整理する。」とありますが、一般に、事業手法の選定は、基本計画に基づくVFMの試算や民間意向調査を伴うと考えます。本業務では、VFMの試算は含まず、「(3)民間活力導入可能性に関する調査」でのサウンディング調査等をふまえ、民間活力導入手法の今後の詳細検討の要否を確認する趣旨で本事業に適性の高い事業手法を複数整理すると考えてよろしいでしょうか。	民間活力導入可能性に関する調査では、サウンディング等による民間意向の把握だけでなく、VFMの試算など、事業手法を選定するうえで必要な内容を含みます。 ただし、事業手法の選定段階では施設の詳細な規模等が決まっていないことが想定されるため、この段階では想定される事業内容等をもとに簡易な試算を行い、基本計画案の策定までに、選定された手法に基づく詳細な費用算定を行うこととなります。
15	仕様書（案）	3ページ 6(1)イ(イ)	業務内容	(イ)に記載された公共施設見直し検討委員会その他の会議には原則として本業務受託者の出席は求めないとの理解でよろしいでしょうか。 出席が必要な場合、おおよその回数をご教示ください。	原則として出席は求めません。
16	仕様書（案）	3ページ 6(1)ウ(ア)	業務内容	市民向けのワークショップ及びフォーラムの企画及び運営について、会場費や謝金等の費用負担は本業務に含まれますか。	本業務には含みません。
17	実施要領 仕様書（案）	(実施要領) 11ページ 別図1 (仕様書案) 3ページ 6(1)ウ(ア)	業務内容	両方の内容に基づくフォーラム及びワークショップ会場費は貴市ご負担かと理解しますが、 ・フォーラムの講師や司会等への謝礼 ・ワークショップ及びフォーラムのチラシ・ポスター等作成費 はどちらの負担になりますでしょうか。	市及びデザイン会議で負担します。

	区分	ページ・項・番等	質問カテゴリー	質問内容	質問回答
18	実施要領 仕様書（案）	(実施要領) 11ページ 別図1 (仕様書) 3ページ 6(1)ウ(ア)	業務内容	フォーラム、ワークショップの企画・運営はデザイン会議でもあり、本業務受託者でもあるような記載となっておりますが、分担についてより具体的にご教示ください。 本業務受託者より企画をご提案し、デザイン会議で協議・承認のうえ、実施の実務やワークショップのファシリテート等は本業務受託者が担うという理解でよろしいでしょうか。	本業務の受託者の役割としては、以下の内容を想定しています。 ・デザイン会議が企画案を検討する際の助言 ・ワークショップ及びフォーラム開催時の運営スタッフ（受付、会場整理、記録などを想定）の派遣
19	仕様書（案）	3ページ 6(1)ウ(ア)	業務内容	市民向けワークショップ及びフォーラムの実施支援とあり、「企画、運営及びパネリスト等の手配はデザイン会議が担う」とありますが、企画及び運営の支援としては具体的にどのような内容でしょうか。デザイン会議と本業務受注者の役割分担の詳細をご教授ください。	質問18の回答のとおりです。
20	仕様書（案）	4ページ 6(1)ウ(イ)	業務内容	市民アンケートについて、調査票の設計・サンプリング方法の検討は本業務に含まれますか。	たたき台は市及びデザイン会議で整理しますので、それに対する助言等の支援をお願いします。
21	実施要領 仕様書（案）	(実施要領) 11ページ 別図1 (仕様書) 3ページ 6(1)ウ(イ)	業務内容	(イ) アンケート調査結果の「分析支援」とはどのような業務を想定されているのでしょうか。 単純集計までは貴市（仕様書）、詳細分析はデザイン会議（別図1）とありますが、クロス集計やまとめの作成などを支援するという意味でしょうか。	お尋ねの件については、お考えのとおりです。 その他、質問20の回答もご参照ください。
22	仕様書（案）	4ページ 6(2)ア	業務内容	「(2)ア基本計画案の作成」に「別に選定する設計業務実施者と連携して以下の事項について整理」とありますが、本業務の受注者と設計業務実施者との作業分担はどのような想定でしょうか。 また、「ただし、PFI方式等、従来方式を採用しない場合は、設計業務実施者との連携を行わない場合もある。」とありますが、従来方式を採用せず民間活力導入手法を採用する方針は、No.14で質問させて頂いたように、本事業への民間活力導入手法の検討の必要性が確認できた時点と理解すればよいでしょうか。その場合、別に選定し進められる予定の設計業務の取り扱い（業務発注中止、または基本設計まで完了する、など）はどのようにされる予定でしょうか。	基本計画案の作成に関する支援は、本業務の受託者の業務となります。基本計画案と設計の思想や内容のすり合わせが必要と考えており、その点を「連携」と表現しています。 採用する事業手法を整理する時期は、お考えのとおりです。その際にPFI方式等を採用することとなった場合は、採用した事業手法に合わせて発注時期や発注手法を再検討することになります。
23	仕様書（案）	4ページ 6(2)ア(ア)	業務内容	「(2)ア(ア)事業予定地の条件整理」に「事業予定地の位置、面積、形状、高低差、法的条件等について調査」とありますが、本業務に事業対象地の面積、形状、高低差の測量調査を含むものではなく、測量調査結果のデータを提供いただけるという理解でよろしいでしょうか。	測量調査は本業務には含みません。業務実施にあたっては、市で保有している資料を提供する予定です。

	区分	ページ・項・番等	質問カテゴリー	質問内容	質問回答
24	仕様書（案）	5ページ 6（3）	業務内容	「事業手法の整理」に基づいて設計発注可否を判断するタイミングがR5年3月とすると、サウンディング調査の実施はそれ以前に行うということでしょうか。 もしくは、基本設計完了後の民間活力導入を視野に入れ、基本計画段階で行うということでしょうか。 ご想定はいずれであるかご教示ください。	サウンディングを含む民間活力導入可能性に関する調査は、事業手法の整理を行うにあたり実施するものとします。
25	仕様書（案）	5ページ 6（3）	業務内容	民間活力導入可能性に関する調査は、サウンディング調査の実施及び分析までとし、PSC及びPFI-LCCの算定やVFMの算定等は対象外という理解でよろしいでしょうか。	質問14の回答のとおりです。
26	仕様書（案）	5ページ 6（4）	業務内容	PFI方式で事業実施を行う場合、募集要項、要求水準書、その他の募集に関する書類すべての作成を本業務内で行うということでしょうか。 要旨の検討までとし、本業務以降にアドバイザー業務を別途発注されるという理解でよろしいでしょうか。	募集に関する書類すべての作成支援を含むものとしますが、従来方式の場合と業務量が大きく異なることが想定されることから、価格については、従来方式を選択した場合を想定して提案してください。 従来方式以外の事業手法を選択した場合、業務内容や請負金額など別途協議のうえ契約変更を行う予定です。
27	仕様書（案）	5ページ 6（4）	業務内容	R5年3月の事業手法の整理で従来方式を採用するとした場合、設計者選定の募集要項や仕様書の作成、及び設計者選定の募集事務はどこまで業務に入るでしょうか。 また設計者選定の募集事務が業務内である場合、選定委員の謝礼、旅費交通費、選定会場費等は貴市ご負担という理解でよろしいでしょうか。	募集の際に必要な書類の作成に関する支援をお願いするもので、設計者選定の募集事務は、本業務には含みません。